

第一学年 国語科 学習指導案

日 時 平成24年11月8日(木)

学 校 住田町立有住中学校 1年A組

授業者 教諭 岩渕 牧子

1 単元名 「5 論点をとらえる」より

流氷と私たちの暮らし

調べたことを報告しよう ～レポートにまとめる～

2 目 標

- 図表を用いた説明の効果などを考え、分かりやすい文章を書こうとしている。

(国語への関心・意欲・態度)

- 筆者が文章を展開する上で用いている図表について、果たしている役割をとらえ、その効果について自分の考えをもつことができる。

(読むこと)

- 集めた材料を分類する等して整理をするとともに、段落の役割を考えて文章を構成することができる。

(書くこと)

- 伝えたい事実や事柄について図表を効果的に用いながら、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くことができる。

(書くこと)

- 事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、語句や文章の中の語彙について関心をもつことができる。

(伝統的な言語文化に関する事項)

3 単元について

(1) 生徒について

生徒は、第3単元における説明的文章『シカの「落ち穂広い」』において、「図表を添えて日記を書こう」という言語活動を設定して図表の種類や効果について学習し、効果的に図表を添えた記録文を書く活動を行ってきた。これらを通して、文章に図表が添えられていると、その文章の意図が分かりやすかったり、文章の説得力が増したりなどの効果があることを理解してきた。その一方で、「図表が文章のどの文と対応しているか」や、「図表からどんなことが読み取れるのか」というとらえが不十分で、図表の効果をも自分の文章に活かしているとは言えない。

そこで、図表と説明がどう対応しているかを意識して、文章の中心部分とそれを支える部分を読み分けて筆者の意図をとらえる力や、図表を使って読みやすく分かりやすい文章を書く力を高める必要がある。また、図表を効果的に用いて自分の考えの根拠を明確にできているかなど、より伝わりやすい表現にするためにはどうしたらよいかを生徒同士が互いに考え深め合うことができるような交流する力も必要である。

(2) 位置付けた言語活動について

本単元は、3領域1事項が位置付いている構成となっているが、読むこと教材（流氷とわたしたちの暮らし）と書くこと教材（調べたことを報告しよう）を関連付けて取り組む。重点的な指導項目をふまえ、以下のとおり言語活動を設定する。

教材名	重点的な指導項目
流氷とわたしたちの暮らし (読むこと)	イ 文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見などと読み分け、目的や必要に応じて要約したり、要旨をとらえたりすること。 オ 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広くすること。
調べたことを報告しよう (書くこと)	ウ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。 オ 書いた文章を互いに読み合い題材のとらえ方や教材の用い方、根拠の明確さなどについて意見を述べたり、自分の表現の参考にしたりすること。
【設定した言語活動】 『「おらどの町 自慢すっぺ！レポート」を書こう』 (「C 読むこと」の言語の活動例「イ 文章と図表などとの関連を考えながら、説明や記録の文章を読むこと」と「B 書くこと」の言語活動例「イ 図表などを用いた説明や記録の文章を書くこと」を結び付けて具体化)	

具体的には、交流校である、千葉県 袖ヶ浦市立根形中学校に対して、相手に伝えたい住田町のよいところを調査し、図表を使って紹介するレポートを書きまとめる言語活動である。「流氷とわたしたちの暮らし」において文章と図表の関連やその効果をとらえ、文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見を読み分けて筆者の考えをつかみ、自分の考えをもつ学習を行う。その学習を生かして、レポートは、次のような観点を設定してレポートをまとめさせていく。

- ① 相手意識をもって書く。
- ② 根拠を明確にするために調査をしっかりとし、情報を分類整理する。
- ③ 調査した事柄を、分かりやすく伝えるために効果的な図表を考える。
- ④ 事実と意見を分けて書く。
- ⑤ レポートの構成にしたがってレポートを書く。

(3) 単元構想について (全11時間扱い 本時9/11)

時間	学習活動	具体的評価規準	指導に当たって
1	「調べたことを報告しよう」 ・ 全体の見通しをもつ ・ これまでの学習経験を想起しながら、レポートについて話し合う。(話題、項目、図表、作成手順等)	○ 学習経験を想起し、レポートについて関心をもっている。	・ 単元全体の見通しをもたせるために「流氷と私たちの暮らし」をまとめたレポート(図表なし)を提示し、最終的に身近な話題(住田町のよさ)を調査し、レポートを書く学習をすることに意欲をもたせる。

2	<ul style="list-style-type: none"> ・ レポートのまとめ方を学習する。 ・ 「おらどの町 自慢すっぺ！レポート」と「流氷と私たちの暮らし」の学習で身に付ける力を意識付け、学習の見直しをもつ。 ・ 住田町の紹介レポートを作成する計画を立て、住田町のよさを話し合う。 (課題を設定し、情報収集を同時進行する。) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ レポートについて知り、レポート作成の手順をとらえている。 ○ 自分が紹介したいよさについて関心をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「流氷と私たちの暮らし」「おらどの町 自慢すっぺ！レポート」で作成するレポートを意識させる。 ・ レポート作成の5つの観点を意識させる。 ・ 図表と文章の関わりを考え、その効果を意識しながら筆者の意図を読み取る力、図表と文章の効果を考えながら、調べたことと事実・意見を書き分けてレポートを書く力を身に付ける学習であることを意識付け、見直しをもたせる。 ・ 住田町のリーフレット等資料となるものを集めておくように指示する。
3	<p>「流氷と私たちの暮らし」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「流氷と私たちの暮らし」を読み、構成をとらえ文章全体をつかむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既習事項（文章構成）を活用し、文章全体の構成をとらえ、筆者の意図をとらえている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図表のない文章を提示し、図表の効果に気付かせ、図表のある文章に関心をもたせる。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図表と文章の関わりを考え、その効果を意識して筆者の考えを読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 説明されている事実と図表との関係を整理し、文章の要旨をとらえている。 ○ 筆者が自分の考えを述べる上で、用いられている図表が果たしている役割をとらえ、その効果について自分の考えをもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれの図表から読み取れることが、文章のどの部分にあたるのか、図表と文章とをあわせると何が分かるかを読み取り、図表と文章の関わりを考えさせる。また、図表から読み取れることが、文章の根拠となることに気付かせ、効果的な図表の使い方を考えさせていく。
5 6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 筆者の考えをとらえ、自分の考えをもち、「流氷と私たちの暮らし」レポート形式でまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本論をふまえて筆者の意見をとらえ、自分の考えを広げたり深めたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時の学習を振り返り、筆者の考えをとらえさせる。 ・ 文章の中心となる部分やそれを支える部分を読み分け、図表との関係をとらえさせる。 ・ 図表と文章の効果的な関連の読みを

			生かして、レポート形式にまとめさせる。
7 8	<p>「調べたことを報告しよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査活動（インターネット） 集めた情報を分類整理し、小見出しをつける。 事実と意見を書き分ける。 全体の構成を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図表を示して説明する部分を意識しながら、段落を組み立てている。 ○ 説明と図表とが対応しているか、図表が説明の手助けとなっているか確かめ、読みやすく分かりやすい文章にしている。 ○ 図表を用いた説明の効果などを考え、分かりやすい文章を書くようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 集めた情報を分類整理し、どの部分にどのような図表が効果的かを考え構成を練る。また、単元の導入で確認した、5つの観点に触れながら作成できるようにする。 付箋紙を活用して構成を組み立てていくようにする。
9	<ul style="list-style-type: none"> 考えた構成を友達と交流し、自分のレポートを再考する。（本時） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 書いた文章を互いに読み合い題材のとりえ方や材料の使い方、根拠の明確さなどについて意見を述べたり、自分の表現の参考にしたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 交流の場面では、5つの観点を意識しながら、友達のリポートの図表の使い方や分かりやすい文章にするための工夫などを話し合い、自分のレポートの構成を再検討させる。
10	<ul style="list-style-type: none"> レポートを完成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読み手の立場に立って、レポートをまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉遣い、誤字脱字、文字の大きさ、分量等に気を付けさせる。
11	<ul style="list-style-type: none"> 完成したレポートを読み合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調べ方やまとめ方の工夫を挙げ、これからの自分の表現に活かそうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれのレポートの感想を交流し合い交流校へよさをPRできる仕上がりになっていることを称揚し、学習の価値付けをする。

4 単元の評価規準

- 自分の住んでいる町のよさに関心を持ち、図表を用いた説明の効果などを考え、分かりやすいレポートを書こうとしている。 (国語への関心・意欲・態度)
- 文章の構成や展開において図表が果たしている役割をとらえながら筆者の意見をつかみ、その効果について自分の考えをもっている。 (読むこと イ)
- 自分が伝えたい事柄について、集めた材料を分類・整理し、段落の役割を考えて文章を構成している。 (書くこと イ)
- 自分のレポートのテーマに沿って、図表を効果的に用いながら自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書いている。 (書くこと ウ)
- 事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、自分のレポートにおける表現への活用について関心をもっている。 (伝統的な言語文化に関する事項 イ (ウ))

5 本時の指導

- (1) 目標 レポートの構成を交流し、レポートの図表の使い方や分かりやすい文章にするための工夫などについて話し合い、自分のレポートの構成を再考することができる。
- (2) 本時の評価規準

観点	A 十分満足できる	B 概ね満足できる	支援を要する生徒への手だて
書く能力	・ レポートの構成を説明し合い、図表の効果や説明の分かりやすさなどについて根拠をもって意見や助言を述べ、友達の意見を自分のレポートの参考にしたりすることができる。	・ レポートの構成を説明し合い、材料の使い方、図表の効果や説明の分かりやすさなどについて意見を述べ、友達の意見を受けて自分のレポートの参考にしたりすることができる。	・ 図表を用いた理由を確かめたり、他からの意見をもらって、自分のレポートの見直すべき点を探したりして、自分のレポートの構成について自己決定させる。

(3) 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価
導入 3分	1 前時までの学習内容を想起する。 ・レポートを書く5つの観点 2 学習課題の確認		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> レポートの構成を交流し合い、自分の構成を見直し、決定しよう。 </div>			
展開	3 友達と構成を交流し合い、分かりやすいレポート構成になっているか話し合う。 話し合うときにはレポート作成の5つの観点のうち③と④を話し合いの視点とする。 ① 相手意識をもって書く。 ② 根拠を明確にするために調査をしっかりし、情報を分類整理する。 ③ 調査した事柄を、分かりやすく伝えるために効果的な図表を考える。 ④ 事実と意見を分けて書く。 ⑤ レポートの構成にしたがってレポートを書く。	・交流するときには、5つの観点のうち③と④を視点として話し合わせ、自分は何をどんな思いでレポートにしようと思ったか、レポート作成で工夫したこと、悩んでいること等を話させる。	【書くこと】 ・友達のレポートの図表の使い方や分かりやすい文章にするための工夫などを話し合い、自分のレポートを再考する。 (学習プリント・話し合い・発表)
42分	4 話し合いで出されたことを参考に自分のレポート構成を再考し、工夫できる点や改善点などを振り返り、構成を決定する。	・話し合いのよさを取り上げて価値付けながら、自分のレポートのテーマに沿ったよりよい構成の在り方を再検討させる。	・友達の意見や助言をもとに、自分のレポート構成を再考し、決定している。(学習プリント・話し合い・発表)
終結 5分	5 自己評価 学習プリントに記入する。	・友達と交流することで、様々な工夫を得たことや、アドバイスしてもらったことを参考にレポート完成に向けての意欲を高める。	・学習プリントの記述